

マルコの福音書 1章29-34節 イエスを信じて従う家族

今日は、家族、特に子供たちに焦点を当てます。この時節、私たちを取り巻く社会では、クリスチャンでない人たちでさえ、子どもや家族が霊的に祝福されていることを目の当たりにし、彼らの子どもたちが霊的に祝福される姿を見ることを望みます。神社は、七五三のために神主が捧げる祝詞のために、3歳、5歳、7歳の子供を連れて行く人々で溢れています。もちろん、神道で祀られている八百万の神の偽りの崇拜は、礼拝者に真に祝福をもたらすことは決してできませんが、今日のマルコの箇所では、個人と家族に真の祝福がもたらされるお方を見ることが出来ます。そのお方はもちろんイエスです。イエスこそ真の霊的祝福の源です。私たちの最高の宣教の場、そして福音を伝える最高の機会が私たちの最も身近にいる家族にあります。私たしたちは自分たちだけではなく家族全員がイエスにつき従う家族になるように、家族にキリストを分かち合うことを祈り求めなければなりません。もちろん、救いは主のものであり、主の御業であり、私たちのものではありません。しかし神は、私たちがイエスにつき従うとき、私たちの家族を祝福するために、私たちとイエスの関係を用いてくださいます。まず初めに、この聖書箇所を読みましょう。

マルコの福音書 1章29~34節 一行は会堂を出るとすぐに、シモンとアンデレの家に入った。ヤコブとヨハネも一緒であった。30 シモンの姑が熱を出して横になっていたの、人々はさっそく、彼女のことをイエスに知らせた。31 イエスはそばに近寄り、手を取って起こされた。すると熱がひいた。彼女は人々をもてなした。32 夕方になり日が沈むと、人々は病人や悪霊につかれた人をみな、イエスのもとに連れて来た。33 こうして町中の人々が戸口に集まって来た。34 イエスは、様々な病気にかかっている多くの人を癒やされた。また、多くの悪霊を追い出し、悪霊どもがものを言うのをお許しにならなかった。彼らがイエスのことを知っていたからである。この箇所、イエスが弟子たちの家族をどのように気遣っておられるかを見ていただきたいです。ここで注目されている弟子とは、再び、まだシモンと呼ばれているペテロのことです。私たちはここで、シモン・ペテロについて興味深いことを知ります。シモンには義理の母がいるので、結婚している事が分かりました。私たちは、使徒パウロと同じように、他の弟子たちも独身であると考えがちですが、そのパウロはほとんどの弟子たちが結婚していることを指摘しています。

コリント人への手紙第一 9章5節 5 私たちには、ほかの使徒たち、主の兄弟たちや、ケファのように、信者である妻を連れて歩く権利がないのですか。

クリスチャンが家庭を築くことは普通で、良いことであり、聖書もそれを期待しています。彼らキリストに従う者たちも同様でした。シモン・ペテロには家族があり、イエスは彼の家族全員に気を配られました。シモン・ペテロのイエスとの関係は、彼の家族全員を、この場合彼の姑を、そして間違いなく妻も祝福しました。

私たちは、ペテロの義理の母がイエスの信者であったかどうか知りませんし、この姑についての言及以外には、ペテロの妻について何も知らされていません。つまり、彼らはイエスの信者ではなかったかもしれませんが、それでもイエスはペテロと自分との関係を通して彼らを祝福されたのです。コリントの信徒への手紙第一の7章14節で、聖霊が使徒パウロを通して語っています。

コリント人への手紙第一 7章14節 14 なぜなら、信者でない夫は妻によって聖なるものとされており、また、信者でない妻も信者である夫によって聖なるものとされているからです。そうでなかったら、あなたがたの子どもは汚れていることになりませんが、実際には聖なるものです。

この箇所について説教ができませんが時間がありません。この箇所の重要な点は、未信者の配偶者や子供が家族を通してクリスチャンになるということではなく、家族の中にいるキリスト信者を通して家族にもたらされる祝福があるということです。そして、コリントの信徒への手紙第一が言及しているように、忠実な夫、妻、親の証しのゆえに、その配偶者や子供たち自身がイエス・キリストを知るようになる可能性の方は とても高いのです。

そこでイエスは、この家族の必要に応え、ペテロの義理の母の聖書の言う熱をいやされました。熱病という言葉は、当時、さまざまな身体的状態を表すのに一般的に使われていたので、彼女が何に苦しんでいたのかを正確に言うのは難しいですが、それが何であれ、イエスには彼女を癒す力がありましたし、実際に癒されたのです。ただ、歴史的に興味深いことがあります。現代のイスラエルにあるカファルナウムのペテロの家と考えられている史跡は、実際にペテロの家である可能性が非常に高いのです。そのような遺跡の多くには証拠が残っていませんが、その家に関してはイエスが入った家、あるいはその跡であるという歴史的な教会の証拠がたくさん存在しています。当時のほとんどの家と同じで、大きな中庭を中心とした建物の集まりでした。家族全員、さらには多くの親戚がその家に住んでいたと考えられており、イエスが旅をしていないときはここに住んでいたと推測する人たちもいます。この癒しには気づくべき二つの側面があります。一つ目は、救い主の愛に満ちたてあて、触れてくださる事です。イエスは、ただ「いやされなさい」とおっしゃれば、彼女は癒されたでしょう。しかし、主はどうされたのでしょうか。31節にこう書かれています。**イエスはそばに近寄り、手を取って起こされた**、イエスはペテロの義理の母に対して、非常に個人的な対応をされました。彼女に触れ、助けることを恐れていません。イエスは憐れみ深く、思いやりのある方なのです。先ほど歌った歌は、イエスのこの側面…私たちに対する優しさと愛に焦点を当てたものでした。私たちは誰一人として、このようなケアを受ける資格はありません。私たちは何度か、イエスがメシアあるいは救い主であるというアイデンティティーは、イエスが唯一の神である人、神であると同時に人間でもあるということに基づいていることを指摘しました。神であるイエスに対して、私たちは皆、その神聖さに対して罪を犯しました。ローマ人への手紙3章23節で神が語るように **ローマ人への手紙 3章23節 23 すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**

イエスが地上で誰かと接するときはずっと、自分に罪を犯したその誰かに語りかけ、癒し、触れていました。それにもかかわらず、イエスは彼につき従う者たちだけでなく、イエスに惹かれた者たち、あるいはイエスにつき従う者たちがいたためにイエスの前に現れた者たちのためにも大いなる愛からそうされたのでした。そもそもイエスを地上に遣わしたのは、罪深い被造物に対する神の大いなる愛ゆえであったので、神の御子が人々との関わりの中でこの愛を示されるのを私たちは期待すべきです。ヨハネによる福音書3章16節にはこう書かれています。

ヨハネの福音書 3章16節 16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

イエスは、私たちのために死ぬことによって最高の愛を示されただけでなく、地上でのミニストリーの間、非常に実践的な憐れみの方法でこの愛を広げてくださったのです。

キリストに従う者として、他者、特に私たちの家族や子供に対する愛と思いやりは、救い主のそれを反映するものでなければなりません。クリスチャンは、優しく、憐れみ深く、愛に満ちているというよりも、むしろ厳しく、批判的と思われがちです。私たちクリスチャンの父親や母親、夫や妻も、このような罪深い態度に陥ることがあります。もちろん、イエスは弱くありませんでした。ペテロの義理の母の手を取るために憐れみをもって手を差し伸べることもあれば、同じその手で人々の礼拝を妨げていた両替人を鞭を打って神殿から追い出すこともできました。しかし、イエスに従う私たちにとって、他者に示すこの愛は、私たちが神の民であることを明確するはずで

ヨハネの福音書 13章35節 35 互いの中に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」

この愛、この思いやり、この優しさは、私たちが最もよく知る人々との関係をはっきりと示すのでしょうか？それとも、イエスの弟子であることを反映しない厳しさや短気さがあるのでしょうか？もしかしたら、今日ここにいるあなたは、厳しさや残酷さの犠牲になっているかもしれません。キリストの信者と名乗る人たちからさえもそのような仕打ちを受けているかもしれません。イエスに立ち返れば、2000年前にイエスがこの婦人に示されたのと同じ憐れみ、同じ優しさ、同じ愛を、今日、見出すことができます。イエスの優しさ溢れる強さを体験するとき、あなたは人間と

して知りえる最も完全な愛と憐れみを体験します。そして、それを個人的に経験した者にとっては、即座に反応があり、それは31節の最後に出てくるペテロの姑とのそれと同じです。**すると熱がひいた。彼女は人々をもてなした。**イエスに触れた者の正しい反応は、イエスに仕えることです。この場面では無理があると思われるかもしれませんが、しかしこれがイエスとの出会いを持った人たちに聖書の中で繰り返し何度も見る事です。彼らの人生全体が変わるのです。少数ですが、この箇所を間違っ、家の中で仕える役割の女性の適切な立ち位置を示しているだけだと言っている牧師たちがいます。特にマルコ書は非常に簡潔で、必要なことだけを詳しく述べているため、この奉仕は彼女を癒してくださったイエスへの感謝からだ理解する方が自然だと思われれます。そして、彼女は少なくともこの時点では、肉体的な問題から癒されたに過ぎません。イエス・キリストに従うあなたと私は、想像できる最も深刻な病気よりもはるかに大きな問題から癒されたのでした。私たちは罪という病から癒されたのであり、その罪の治療薬はただ一つ、イエス・キリストの血潮だけなのです。この箇所の終わりでは、イエスがペテロの家にいるという噂が広まり、多くの人々が癒しを求めて集まって来るので、イエスは肉体的な病気だけでなく、霊的な病気も癒すことができるということに焦点が当てられます。肉体的な病を癒すと言われていますが、悪霊を追い出し、彼らにものを言うなと言ったことが二度言及されています。前にも言及したかもしれませんが、マルコ書では悪霊が大きな役割を果たしています。マルコは、イエスが悪霊を追い出したというさまざまな記述を見せてくれます。しかし、マルコ書の前半では、イエスがバプテスマと誘惑に服し、私たちと同じ完全な人間であったイエスですが、神でもあり、悪の霊的な力に打ち勝つ力によってそれを示しているのです。肉体的な癒しを与えることと、霊的に人を癒すこととは、まったく異なる状況です。なぜイエスは悪霊らに話すなど言われたのでしょうか？それは、メシアは文字どおりの地上の王となり、ローマを転覆させるというユダヤ人の理解から、メシア信仰を皇帝への脅威とみなすローマ政府から、「あの」メシアと特定されることは、不必要な注目を集めるという現実的な懸念があるからです。もちろん、最終的にはローマ当局によってメシアの死が承認されることになるのですが、このイエスの宣教の時点では、メシアの死の時ではなかったのです。第二の、そして、おそらくより重要なポイントは、イエスの十字架上の死が成し遂げられるまでは、イエスをメシアと見なすのは時期尚早だということです。神の怒りを鎮めるために罪のための生け贄となる、というメシアの目的を果たすまでは、イエスは真の意味で救い主とは言えなかったのです。そうやって初めて、マルコは異邦人のローマ百人隊長にイエスの死を見せ、マルコ書15章39節で「本当にこの人は神の子だった！」と宣言させるのです。その時こそ、イエスが本当に私たちのメシアとなった時なのです。今、すべての悪霊はイエスが誰であるかを知っていましたが、イエスはそのメシアになるための具体的な方法を持ち、教えと奇跡によってそれを証明し、死と復活によってそれを成し遂げるのです。すべての人を思いやり、他にはない愛と憐れみを示してくださるこのイエスこそ、私たちの罪のために死んでくださるお方なのです。だからこそ、私たちはキリストに従うべきなのです。だからこそ、親として、子供たちがキリストに従うよう求めるべきなのです。だからこそ、救われていない配偶者を持つ夫や妻として、彼らがキリストに従うよう求めるべきなのです。キリストは、イエスから離れて霊的に死んでしまった私たちの最も深刻な病を癒してくださる救い主です。私たちが子供たちのために、家族のために、友人や隣人のために祈ることができる最高の恵みであり祝福は、彼らが私たちの主イエス・キリストによって新しい命、新生を経験することです。ですから、今日、私たちは礼拝の一部として、子供たちとその親たちがその祝福を経験できるように祈ります。祈りましょう。

Mark 1:29-34 Families following Jesus

Today, our focus is on family, our children specifically. Of course, this is a time in the society around us where even non-Christians see the spiritual blessing of children and family, and want to see them blessed spiritually. Shrines are filled with those taking their 3, 5, and 7 year olds for a blessing conveyed by priests for Shichi-Go-San. Of course, the false worship of the many kami recognized in Shinto can never truly bless the recipient, but today in our passage in Mark we see the one through whom real blessing can come to an individual and families. That one is of course Jesus. He is the source of real spiritual blessing, and our greatest mission field and gospel opportunity is those that are closest to us, our families. We should be praying and seeking to share Christ with our families so that **we become a family following Jesus**, not just me following Jesus. Of course, salvation belongs to the Lord, and it is his work not ours. But God uses our relationship with Jesus to bless our families as we follow Jesus.

Let's read this passage to begin. **29 As soon as they left the synagogue, they went with James and John to the home of Simon and Andrew. 30 Simon's mother-in-law was in bed with a fever, and they immediately told Jesus about her. 31 So he went to her, took her hand and helped her up. The fever left her and she began to wait on them. // 32 That evening after sunset the people brought to Jesus all the sick and demon-possessed. 33 The whole town gathered at the door, 34 and Jesus healed many who had various diseases. He also drove out many demons, but he would not let the demons speak because they knew who he was.** I want you to see in this passage how Jesus cares for the family of his followers. The follower or disciple that is in focus here is once again Peter, still called Simon. We learn something interesting about Simon Peter here. We learn that he is married, because we learn he has a mother-in-law. I know we sometimes think that all these men were like the apostle Paul and were single, but even Paul makes note that most of them are married. **1 Corinthians 9:5 says, Do we not have the right to take along a believing wife, as do the other apostles and the brothers of the Lord and Cephas?** It is normal and good and expected by the Bible that Christians will form families. And these followers of Christ were no different. Simon Peter had a family, and Jesus cared about his whole family. Simon Peter's relationship with Jesus blessed his entire family, and in this case particularly his mother-in-law, and I'm sure, his wife.

We don't even know that Peter's mother-in-law was a follower of Jesus, and we know nothing about Peter's wife outside of this mention of a mother in law. So, they may not have been followers of Jesus, but Jesus still blessed them through Peter's relationship to himself. You might remember this very interesting passage from 1 Corinthians...in **1 Corinthians 7:14, the Holy Spirit, speaking through the apostle Paul says, 14 For the unbelieving husband is made holy because of his wife, and the unbelieving wife is made holy because of her husband. Otherwise your children would be unclean, but as it is, they are holy.** I don't have time to re-preach that sermon, but just to say that the point of that passage is not that the unbelieving spouse or child becomes a Christian through their family member, but that there are blessings that come to the family through the follower of Christ in the family. And as 1 Corinthians is referring to, there is a much stronger possibility that the spouse and children will come to know Jesus Christ themselves because of the testimony of a faithful husband, wife, or parent.

So, Jesus here responds to the need in this family and heals Peter's mother in law from what the Bible says is a fever. The word fever was used generically to describe a lot of

different physical conditions at the time, so it would be hard to say exactly what she was suffering from, but whatever it was, Jesus could and did heal her from it. Just an interesting historical note...it is very likely that the historical site in Capernaum thought to be Peter's house, in modern day Israel, is actually his house. Many sites like that lack any evidence, but there is a lot of historical church evidence that it is the house, or the remains of it, that Jesus entered into. It is like most houses of that time, a group of building centered around a large courtyard. The entire family and even extended family would have been living in the house, and some speculate that this is where Jesus lived when not traveling around.

There are two aspects this healing that we should notice here. **One is the loving touch of the Savior.** Jesus could have just spoken the words, be healed, or something like that and she would have been healed, but notice what he did. Verse **31** says, **So he went to her, took her hand and helped her up.** Jesus is very personal in his response to Peter's mother in law. He is not afraid to touch her and assist her. He is compassionate and caring towards her. The songs we sang earlier focused on this aspect of Jesus...his kindness and love towards us. None of us deserve this care. We have pointed out several times that Jesus's identity as the Messiah or Savior is based on Him being the only God/Man, both God and human. As God, we have all sinned against his holiness. As the Word of God tells us in **Romans 3:23 for all have sinned and fall short of the glory of God.** Everytime that Jesus interacted with someone on earth, he was speaking and healing and touching someone who had sinned against him. And yet, he did it, out of the great love he showed for not only his followers, but for those attracted to him or in his presence because of his followers. It was God's great love for his sinful creatures that sent him to earth in the first place, and so we should expect to see the Son of God demonstrating this love in his interactions with people. **John 3:16 tells us, 16 "For God so loved the world, that he gave his only Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life.** In addition to showing the greatest love by dying for us, Jesus extended this love in very practical compassionate ways during his ministry on earth.

As followers of Christ, our love and compassion towards others, especially our families and our children should reflect that of our Savior. Too often Christians are thought of as harsh and judgmental, rather than kind, compassionate and loving. We as Christian fathers and mothers and husbands and wives can fall into this sinful attitude as well. Of course, Jesus was not weak. He could reach out with compassion to take the hand of Peter's mother in law, and still make a whip and drive the money changers out of the temple who were preventing people from worshipping with those same hands. But for those of us who follow Jesus, this love shown to others should define us as the people of God. In **John 13:35, Jesus says, 35 By this all people will know that you are my disciples, if you have love for one another.**" Is this love, this compassion, and this kindness what defines our relationship with those who know us best? Or is there a harshness and quick temperedness that doesn't reflect being a follower of Jesus. Maybe you are in here today, and you are a victim of harshness and cruelty, maybe even from those who have claimed to be followers of Christ. You can turn to Jesus, and find the same compassion, the same kindness, the same love that Jesus showed 2000 years ago to this lady, even today. When you experience the kind strength of Jesus, you experience the most complete love and compassion that we as humans could ever know.

And for those who have experienced that personally, there is an immediate response, and it the same as Peter's mother in law at the end of verse 31. **The fever left her and she began to wait on them.** The right response of one who has been touched by Jesus is to serve Jesus. I know that this may be a stretch for this event, but it is what happens when you see people have an encounter with Jesus over and over in Scripture. Their whole life changes. A few pastors have actually wrongfully used this passage to say that this just shows the proper place of women in servant roles within the house. That is definitely not why this is included, and especially in Mark where he is very succinct and includes only the necessary details, it seems more natural to understand that this service is out of gratitude to Jesus who healed her. And she was only healed at least at this point from a physical issue. You and I who follow Jesus Christ have been healed from a far greater problem than the worst disease you can imagine. We have been healed from the disease of sin, that has only one cure – the blood of Jesus Christ.

As the passage ends, we see this focus on Jesus's ability to heal spiritual disease not just physical as word spreads that he is at Peter's house and many gather for healing. We are told he heals physical disease, but mentioned twice and at the end is the fact that he cast out demons, and tells them not to speak. I may have mentioned before but demons play a large role in Mark. He shows us many different accounts of Jesus casting out demons. But it is only in the first half of Mark where he is showing that this human Jesus who submitted to baptism and temptation and was fully human like us, also is God and demonstrates that by his power over the spiritual forces of evil. It's one thing to provide physical healing, but a far different situation to spiritually heal a person. Why did he tell them not to speak? There is a practical concern that being identified as "a" or "the" Messiah draws unnecessary attention from the Roman government who sees the Messiah belief as a threat to the Emperor because of the Jewish understanding that he would be a literal earthly king and overthrow Rome. Of course eventually, his death would be authorized by Roman authorities, but at this time in his ministry, it was not time for his death. The second and likely more important point of this was that until Jesus's death on the cross had been accomplished any identification of him as Messiah is premature. Until he had done what the Messiah had come to do, be a sacrifice for sins to appease the wrath of God, he could not truly be said to be the Savior. Only when that happened does Mark then have the Gentile Roman Centurion see his death and proclaim "truly this man was the son of God!" in Mark 15:39. It is then that Jesus truly becomes our Messiah. Now all the demons know who he is, but Jesus has a specific way to become that Messiah and prove it by his teaching and miracles and then accomplish it by his death and resurrection. This is truly what everything he does, healing physically and spiritually is pointing at – that this man Jesus who cares for everyone and demonstrates love and compassion like no other is the one will die for our sins. This is why we should follow Christ. This is why as parents we should seek for our children to follow Christ. This is why as husbands and wives with unsaved spouses, we should seek for them to follow Christ. He is the Savior who can heal us from our deepest illness that has already resulted in our spiritual death apart from Jesus. The greatest blessing that we can pray for our children, for our families, for our friends and our neighbors is that they will experience new life, new birth through our Lord Jesus Christ. So, today, as part of our worship, we will pray for that blessing to be experienced by our children and their parents today. Let's pray.